

2012 港区民冬季テニス大会

主催 港区教育委員会
(公財)港区スポーツふれあい文化健康財団 (一財)港区体育協会
主管 港区テニス連盟

大会役員 大会会長 堂山 幸男
ディレクター 岡山 静
レフェリー 杉浦 誠治
大会運営係 三田倶楽部

日時 2012年2月26日 9:00~17:00 小雨の場合は決行

会場 都立芝公園コート (オムニコート)
当日の連絡 090-5305-4223

種目 壮年ミックスダブルス

集合時間

No. 2-3 12-13 32-33	の方は AM 8:50
No. 6-7 22-23 28-29	の方は AM 9:20
No. 8-9 14-15 20-21	の方は AM 9:50
No. 4-5 24-25 30-31	の方は AM 10:20
No. 10-11 16-17 18-19 26-27	の方は AM 10:50

上記以外の方は AM 11:20 までに受付を終了してください。

試合方法 トーナメント戦 1セットマッチ(6オール7ポイントタイブレーク)
ノアドバンテージスコアリング方式 セルフジャッジ方式

表彰 1~3位(表彰状・副賞)

その他

- ・試合球(ウイルソン)は主催者が試合球を用意する。
- ・試合前の練習は各サイド、サービス2本とする。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」2011に準じる。
- ・勝者はゲーム終了後、速やかにスコアカードを本部に届ける。

セルフジャッジについて(選手の義務)

・判定とコール

(1) ネットより自分側に関する判定は、全て自分の責任である。

(2) 判定とコール〔「アウト」「フォールト」等〕は瞬間的に、又大きな声とジェスチャーで行われなければならない。

・カウントのコール(サーバーの義務)

新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前には、サーバーは必ずレシーバーに聞こえるように大きな声でカウントをコールしなければならない。

・サービスのレット

レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯しているとは判断したときには速やかにレフェリー(又はコートレフェリー)を呼び事情を説明して、善処してもらうことが出来る。(但し、コートを出るときには相手方の了承が必要である)

・試合が終了したら

勝者はスコアを大会本部に報告しなければならない。セットボールは敗者が持ち帰る。